

「第31回環境公害セミナー」のお知らせ

地球を救おう！

あなたが 一歩踏み出す勇気を！

＜公害・地球環境問題懇談会創立30周年記念行事＞

講演テーマ

「COP26」の最新情報と 「パリ協定」実行のための 政府の責任と市民の役割

気候変動問題は、いまや「気候危機」と言われ、工業化（1850年頃）からの平均気温の上昇を1.5℃未満に抑えなければ、人類の健全な生存が脅かされると言われています。

IPCC（気候変動に関する政府間パネル）は、平均気温の上昇を1.5℃未満に抑制するには、2050年までに脱炭素社会を構築することが必要だとしています。そして、2030年までの対策が決定的に重要だとしています。日本政府は昨年10月に2050年に温室効果ガスの

排出を実質ゼロにすると宣言し、今年4月には2030年削減目標を2013年比46%削減と、それまでの26%削減から引き上げました。しかし、平均気温の上昇に直接関係するとされる累積排出量（過去に遡った排出量の総量）が世界6位の日本の責任を考えれば、温室効果ガスの排出実質ゼロはもっと早く達成すべきであり、2030年目標もより高い目標が必要です。

気候変動の加害国である日本の責任と、日本の市民である私たちが何をすべきかを考えたいと思います。

■【日時】 2021年 **12月4日(土)** 午後2時～午後4時30分

■【会場】 ワイム貸会議室お茶の水RoomB 【参加費】 無 料

■【講師】 (弁護士) **早川 光俊 氏**

公害弁護士全国連絡会
CASA専務

■【特別報告】 *********

① ストップ温暖化！「公害地球懇」の運動(COPの取組み))

橋本 良仁 氏 (公害地球懇・前事務局長)

② 「COP26」に参加して(世界の若者の声＝「気候正義」)

高橋 英恵 氏 (FoE Japan)

■【定員】 会場: 30名 Web: 100名

※リアル＆リモートのハイブリット開催となります。

※申込書(裏面)に必要事項を記載し申込みのうえ受講願います。定員になり次第締切りとなります。



主催

一般財団法人東京保健会病体生理研究所
公害・地球環境問題懇談会

連絡先

〒173-0032 板橋区大谷口上町2-6-2
(電話) 03-3956-4120

講師紹介

《早川光俊》

- ・1978年4月に弁護士登録（大阪弁護士会所属）。
- ・弁護士登録直後から「西淀川大気汚染公害弁護団」で20年間活動。現在は「きんき水俣病裁判弁護団」として活動している。
- ・COP3では、「市民フォーラム」の事務局次長として活動。
- ・1992年のリオ・デ・ジャネイロでの地球サミット、2002年のヨハネスブルグでの「リオ+10」に参加。
- ・気候変動問題では、1996年のCOP2から2021年のCOP26まで25回のCOPに参加。
- ・NPO法人地球環境市民会議（CASA）専務理事、自然エネルギー市民の会（PARE）事務局長。



＜COP21会場にて＞
（左）早川氏、
（左から4人目）橋本氏

《橋本良仁》

- ・公害・地球懇の前事務局長。COP15及びCOP21の公害・地球懇代表団の団長を務め、いま地域・学園の「出前講座」の講師役として大活躍しています

《高橋英恵》

- ・FoE JAPAN（地球規模での環境問題に取り組む国際環境NGO）の気候変動対策担当。COP25・COP26に連続参加。
- ・FFF（未来のための金曜日）の仲間を支えるメンバーとして、石炭火葬を止める現場のアクションを担っています。9月24日、世界の若者たちが気候危機打開策を世界の指導者に求める気候アクションを99ヶ国で展開。日本でもFFFジャパンの呼びかけで各地で若者が行動しました。

■ワイム貸会議室 お茶の水／RoomB

（住所）千代田区神田駿河台2-1-20
お茶の水ユニオンビル

- JR総武線・中央線
「お茶の水駅」お茶の水橋口 徒歩2分
- 地下鉄東京メトロ丸の内線
「お茶の水駅」2番出口 徒歩3分
- 地下鉄東京メトロ千代田線
「新お茶の水駅」B1出口 徒歩4分



会場案内

申込み方法

- 1) 下記の申込書の内容を明記の上、下記のFAX宛にお送り下さい。
 - 2) オンライン参加希望者は、QRコードから登録をお願いします。
 - 3) 申込者へは順次、受講可否をメールまたはFAXにて送付します。
- ※申込書の記載事項は、個人情報保護法を遵守し、本セミナーの受付・運営のみに利用させていただきます。
- ※申込みの照会・修正等につきましては、下記「申込先」まで連絡をお願いいたします。

オンライン参加者用
QRコード



「申込先」：〒173-0032 東京都板橋区大谷口上町26-2

電話/03-3956-4120 FAX/03-3956-4102

E-mail/seminar@byotai.or.jp

■2021年12月4日 「第31回公害セミナー」参加申込書

(フリガナ) 氏 名		[所属団体名] (個人の場合は記入不要です)	
■参加方法 (いずれかに○をして下さい) ・会場参加希望 ・Web希望		(メールアドレス)	
住 所	〒 ー	FAX : ()	
電 話	携帯 : () 自宅 : ()		

公害・地球懇談会、病体生理研究所共催のセミナー開催に向けて

一般財団法人東京保健会 病体生理研究所
所長 藤井 浩之

かつて経験したことのない新型コロナウイルス感染症との闘いで、最前線で働いている医療従事者の皆さん、心からの敬意を表します。

この未曾有の状況の中、市民生活へも多大な影響を及ぼしており、経済活動の停滞から、自殺者（2020年）の増加、とりわけ女性の自死が問題となっており、感染症とは別の意味で「命」の問題が浮上しています。

感染症としてのコロナウイルスは、その由来から人畜共通感染症としての側面もあり、宿主でターゲットとされているのは、ほ乳類で唯一、自分の力で空を飛ぶコウモリです。新しい人畜共通感染症は、地球環境の奥深くに人が立ち入ることによって病が発現されることも多く、エボラ出血熱や2003年流行した「SARS」などの新型感染症の発現は、環境が破壊されたことによる「環境問題」

だと捉える見方も、少なくありません。

今回、31回を迎える「環境公害セミナー」は、公害・地球環境問題懇談会（以下地球懇）と共催の形で開催しており、過去30回のセミナーからは、酸性雨と車社会にディーゼル問題、水俣・ダイオキシンにアスベスト、原発問題に地球温暖化、水の汚染と食にTPP、防災・減災と公共事業、などなど、地球懇との連携によるテーマが積み重なってその開催の歴史を表現していると感じております。

（過去のセミナー年譜参照）

今後の開催では、改めて地球懇との繋がりを強め、より進化（深化）したテーマでの開催を追求して参りたいと考えております。（発現：現れ出すこと）



公害・地球環境問題懇談会（JNEP）の活動紹介

「なくせ公害、守ろう地球環境」運動の30年のあゆみ

■公害・地球懇は1990年12月に結成、「なくせ公害、守ろう地球環境」の運動目標を掲げ、「公害は終わった」とするキャンペーンに対して「足元の公害である水俣病・大気汚染の解決なくして地球環境は守れない」ことを強調。公害被害者の救済・公害の根絶とともに地球温暖化対策を求め、「全国公害被害者総行動」を支えこの30年取り組んできました。

■1992年6月の国連主催「地球サミット」（ブラジル・リオ）には100名を超える代表団（水俣病・大気汚染訴訟の原告・弁護団と公害・地球懇の代表）が参加。地球サミットでは「気候変動枠組条約」が採択され、1995年から毎年COP（国連気候変動枠組条約締約国会議）が開かれてきました。その節目となったCOP3（1997年・京都開催）で公害・地球懇は京都に現地事務所を構え、高尾山の「天狗みこし」を担いで「市民パレード」をおこない、「京都議定書」の採択を支え

ました。しかし直後にアメリカが「離脱」を表明、日本政府は「石炭火発推進」をすすめる京都議定書の目標達成に逆行しました。

■COP15（2009年・コペンハーゲン開催）には22名の代表団を送り、その後のCOPには「私たちの環境サミット」（大学生グループ）が参加。そしてCOP21（2015年・パリ開催）には「パリ同時テロ」という困難な条件の中を5名の代表を派遣。歴史的な「パリ協定」の合意を確認しました。

■今回のCOP26（2021年11月、イギリス・グラスゴー開催）ではIPCC（気候変動に関する政府間パネル）の第6次評価報告書にそって、地球温暖化による気候変動危機を止めるために、「気温上昇を1.5℃に抑える削減目標と対策」が人類生存の未来にかかわる課題となります。

COPとは 気候変動枠組条約締約国会議の略称であり、各国の政府首脳・政策立案者、気候科学者が集まり、気候変動対策のルールを討議・決定しています。1995年の第1回以来ほぼ毎年開かれ、今年のCOP26は、第6次評価報告書が、人間の活動が地球温暖化に与える影響について「疑う余地がない」と断定しています。

天狗マークと「地球・共生・未来」手ぬぐい

天狗マークは1992年のブラジル・リオ「地球サミット」以来、公害・地球環境問題懇談会のシンボルマークとして「なくせ公害、守ろう地球環境」の合言葉と共に使われてきました。

「地球・共生・未来」の篆刻文字は、2009年のCOP15（デンマーク・コペンハーゲン）及び、2015年COP21（フランス・パリ）に持参し、世界のNGOにアピールしてきました。そして今年のCOP26（イギリス・グラスゴー）に向けたキャンペーンの一環として、この日本手ぬぐいを普及いたします。



■「環境公害セミナー」開催実績一覧■

回数	開催年月日	講演題名	講師(所属)
1	1992/2/29	酸性雨を考えるつどい ①中国の酸性雨の現状と民間技術協力 ②わたしたちの文化財と環境 －大気汚染による文化財への影響－	①菱田 一雄(菱田環境計画事務所所長) ②権上 かおる(アグネ技術センター)
2	1993/2/14	いま 足元から考える地球環境 ①地球環境問題の現状とその視点 ②環境教育(意識の変革)は身体を動かして	①増田 善信(元気象研究所研究室長) ②本谷 勲(東京農工大学名誉教授)
3	1993/9/18	地球環境に何が起きているのか	中村 梧郎(フリー・フォトジャーナリスト)
4	1994/6/18	車社会を考え直す	柴田 徳衛(東京経済大学教授)
5	1995/6/3	地球を蝕む酸性雨	石 弘之(国連環境担当特別顧問)
6	1996/6/15	水源林保全と酸性雨	宮下 正次(「森林(やま)の会」事務局長)
7	1997/6/7	ディーゼル排気微粒子(DEP)の健康影響	嵯峨井 勝(国立環境研究所)
8	1998/6/13	自動車排ガス汚染対策の欠陥	水谷 洋一(静岡大学文学部助教授)
9	1999/6/19	ダイオキシン問題の現状と対策	本間 慎(フェリス学院大学教授)
10	2000/9/9	東海村臨界事故と原子力発電	館野 淳(中央大学教授)
11	2001/9/29	広がる市街地土壌・地下水汚染	畑 明郎(大阪市立大学大学院経営学研究科教授)
12	2003/1/25	食の安全性を保つために ①食の安全性を保つために－環境・食料問題とのかかわりで考える ②食の安全性を保つために－消費者の立場から	①岩田 進午(元茨城大学教授) ②清水 鳩子(主婦連 副会長)
13	2004/1/24	いま、食の安全・栄養・食味は？	岩田 進午(元茨城大学教授)
14	2005/3/12	大気汚染の現状と健康問題を考える －きれいな空気を子供たちへ－ ①大気汚染の疫学調査と問題点 ②東京の「未認定」患者に対する被害実態調査から	①福富 和夫(元国立公衆衛生院 保健統計学部長) ②除本 理史(東京経済大学 経済学部助教授)
15	2005/7/16	地球温暖化防止『京都議定書』発効	寺西 俊一(一橋大学大学院経済学研究科教授)
16	2006/7/22	アスベスト被害の救済をめぐる	村松 昭夫(全国公害弁護団連絡会議副幹事長)
17	2007/10/13	水俣・・・胎児との約束	板井八重子(くすのきクリニック院長 熊本民医連会長)
18	2008/10/4	食の安全と農業・農地問題	石井 啓雄(駒沢大学名誉教授)
19	2009/10/3	地球温暖化問題と自然エネルギー	和田 武(日本環境学会会長 元立命館大学教授)
20	2010/9/18	安心して吸えるきれいな空気を求めて ①ディーゼル排ガスに含まれるナノ粒子の健康影響 ②大気汚染被害者の新たな救済制度を目指して	①武田 健(東京理科大学総合研究機構) ②原 希世巳(渋谷共同法律事務所弁護士)
21	2011/7/16	T P P と国民生活・経済・農業	田代 洋一(大妻女子大学社会情報学部教授)
22	2012/9/1	脱原発・再生可能エネルギー中心の社会へ	和田 武(日本環境学会会長)
23	2013/9/28	防災・減災と道路・公共事業	塩崎 賢明(立命館大学政策科学部教授)
24	2014/9/6	東電福島第一原発災害と市民の目	牛山 積(早稲田大学名誉教授・元副総長)
25	2015/7/4	日本陸軍と秘密戦：戦争と環境破壊に触れて	山田 朗(明治大学文学部日本史学専攻教授)
26	2016/9/10	再生可能エネルギーで拓く未来と抑える被害	佐川 清隆(東京大学特任研究員)
27	2017/7/22	原発事故被害の現状と 千葉・生業訴訟の連弾判決の意義を考える	中島 孝(「生業を返せ、地域を返せ！」福島原発訴訟原告団長)
28	2018/7/7	パリ協定で未来を変える。	桃井 貴子(NPO法人 気候ネットワーク 東京事務所 所長)
29	2019/9/14	ぜん息等医療費救済制度の実現に向けて	原 希世巳(渋谷共同法律事務所弁護士)
30	2021/2/28	人類の未来を決める“パリ協定”の実行	佐川 清隆(名古屋大学特任助教)



(第20回セミナー)



(第26回セミナー)



(第27回セミナー)

第31回環境公害セミナー

「COP26」の最新情報と『パリ協定』実行のための政府の責任と市民の役割

【日時】2021年12月4日（土）午後2時～午後4時30分

【会場】ワイム貸会議室お茶の水RoomB 【参加費】無料

【講師】（弁護士） 早川 光俊氏

【特別報告】①ストップ温暖化！「公害地球懇」の運動（COPの取り組み）

橋本良仁氏（公害地球懇・前事務局長）

②「COP26」に参加して（世界の若者の声＝「気候正義」）

高橋英恵氏（FoE Japan）

【定員】 会場・30名 Web・100名

※リアル&リモートのハイブリット開催となります。

【共催】一般財団法人東京保健会病体生理研究所 公害・地球環境問題懇談会

「オンライン参加の方は事前登録制になりますので下記より登録をお願いします。

<https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZ0tde2rrDoiE9b0B9P4xl0p6trv3tKPnwZn>

登録後、ミーティング参加に関する情報の確認メールが届きます。

YouTubeでも同時配信を行います

<https://www.youtube.com/watch?v=O29mEN4hzy0>

会場参加の方は、必要事項を記入してFAXでお申し込みください。

FAX:03-3956-4102 一般財団法人東京保健会病体生理研究所 環境公害セミナー係